

令和6年度 第3回学校適正配置検討委員会 会議記録（要旨）

日時 令和7年1月20日（月） 午後6時00分～午後7時30分

場所 仙北市西木庁舎2階201会議室

出席 出席委員15名（欠席委員3名）

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議 題

（1）こども園、保育園及び小中学校保護者との意見交換会について（報告）

～事務局説明～

令和6年12月5日から20日にかけて、全園・校の保護者を対象に行い、合計302人が出席した。今年度4月に示した小・中学校それぞれ4つの組合せパターンからなる再編試案のうち、小学校は神代、西明寺、桧木内の3校を、中学校は神代、西明寺、桧木内の3校と、この3校に生保内を加えた4校を統合する案を提示し、ウェブアンケートにより意見をうかがった。結果、11件の回答があり、肯定的な意見のほか、将来を考え全5校の統合を望む意見や、統合に向けて安心できる通学体制の整備や施設の改修を望むという意見があったことを報告。

（特に質問等なし）

（2）学校適正配置計画（素案）について

～事務局説明～

計画（骨子案）を更新し、計画（素案）の原案を作成した。主な更新内容は、具体的な実施計画の部分に、学校再編の内容とスケジュールを具体的に示したことである。

事務局	できれば令和7年度中に計画を完成させたいと考えている。
委員	令和6年度内に計画を完成させ、令和9年度に小学校を中学校に先行して統合できないか。
事務局	小と中の再編スケジュールは関連するため、合意形成はセットで図る必要がある。 小学校が中学校より2年以上早まることになれば、統合小学校初年度の6年生が、中学進学時に各地の中学校にバラバラに進学することになり、そのような事態はさけない。
委員	意見交換会への出席者数をみると、学校再編に対する地域や世代間の温度差があるのかもしれない。

委員	放課後児童クラブの所管は教育委員会ではないが、当分の間旧学区ごとに実施してもらえるのか心配である。担当課とは連携がとれているのか。
委員	スクールバス購入や、改修工事などの予算は大丈夫か。計画が決まったのに予算がなくてできないという事態にはならないか。
事務局	今日に至るまで、放課後児童クラブ担当課や財政課とも情報共有しながらまとめてきた原案であるし、市当局と総合教育会議という場で一緒に検討してきたものである。予算は議決事項なので、今約束できるものではないが、計画は完成したが予算が無くてできないという事態にはならないように進めている。
委員	統合に対する様々な不安については、統合を経験した中川地区や白岩地区の保護者の話を聞く機会があればいいと思う。
委員	生保内学区では意見交換会の参加者が少ないが、関心が無いというよりは、すでに統合に向かっているという認識が浸透していると思う。現在は、統合後の通学方法など具体的な部分に関心が移っていると思う。
事務局	具体的な通学体制のイメージとして、スクールバス運行計画の想定は意見交換会で示したところである。 詳細については、統合準備委員会の中で保護者と一緒に検討していくことになる。
委員	中学校を小学校と同時に統合する場合、神代小学校を改修する1年間は神代中学校を仮校舎として使用するということだが、教室が不足するのではないか。例えば、現在の中学校校舎に分散したまま統合という形もあるのではないか。
事務局	その場合は、教員の配置が問題となってしまう。 神代中はもともと9普通教室があった校舎なので、老朽化は進んでいるがスペース的には足りると考えている。
委員	普通教室以外に、特別支援教室の確保など、今日の実情に合わせた教育活動ができるか検討が必要だと思う。
事務局	来年度、専門業者に委託して、ハード面の整備内容、費用試算、スケジュール等の検討を予定している。
委員	素案よりも大きな統合を目指した方がいいと思っている。素案の統合

にお金をかけて改修しても、さらに生徒が減って再度統合する場合どうするのか。統合のために改修した校舎を将来どうしていくのかを示していかないと市民は納得できないと思う。

事務局 この計画では、計画完成から概ね10年先まで継続できる再編を目指している。10年後以降の将来に向けては改めて検討が必要になると思う。出生数や社会状況の変化を踏まえ、10年後は角館中に統合するとか、統合中に角館中が来るとか、あるいは角館高校との中高連携とか、様々な選択肢があると思います。

委員長 県の高校再編でも10年スパンで考えている。統合は、数合わせでは行えず様々な事情を考慮する必要がある。10年先までの形をつくるというのは現実的なところだと思う。

委員 改修工事のスケジュールはどうなるのか。

事務局 統合前年度内の完了を基本とし、統合年度は予備期間と考えている。

委員 遠距離通学となる児童生徒の負担軽減を図るとしているが、具体的にはどのような負担か。

事務局 遠距離通学者の心身負担軽減のほか、スクールバスは無料だが、民間バスの定期券補助やマイカー送迎の燃料費補助といった経済的負担軽減も含む。

事務局 中学校の統合スケジュールは、小学校統合と同時に行い1年間は神代中を仮校舎とするか、または小学校統合から1年後がよいか、意見を聞かせて欲しい。

委員 神代中は特別支援教室の確保などが難しいように思うのと、仮校舎とするために改修費をかけることになるなら、小学校統合から1年後に統合する方が良いと思う。

委員 私は、まだ考えがまとまっていない。
(他の委員も同様の意見あり)

委員長 検討委員会として、素案の中身はこれで良いとして、中学校の統合スケジュールについては、次回に意見を持ち寄って話し合うこととする。
(全員了承)

5 閉会